



第5回少年野球全国大会県予選 決勝トーナメント試合規定

- 野球競技区画線（学童部）塁間23m、投手間16m、固定ベースで行います。
試合球は公式J号球（ケンコーボール）で行います。
- 試合予定時刻60分前には、会場入りしてください。第1試合は試合開始1時間前よりグラウンド内で練習可能です。
- ベンチは、組合せ番号の若い方を1塁側とします。
- シートノックは、行わない。
- ベンチに入れる人員は、代表責任者1名（成人）・監督1名（成人）・コーチ2名（成人）・スコアラー（小学生可）・登録選手25名以内とする。ただし21人目以降の背番号・統一ユニフォームを所有していないクラブは、選手20名以外に別ユニフォームにて5選手がベンチ入り可能。しかし、その5選手には試合出場権は与えない。
※成人とは、18歳以上と定める。（学生除く）
- 事前登録されている申し込みメンバー表で選手登録の確認をいたします。
選手背番号については当日の交換メンバー表を参照して試合進行をいたします。
- 大会取決め事項
 - 全試合6回戦90分制を採用。
PRIDEJAPAN 規定に則り、**80分**を超えて次のイニングには入らない。
ただし勝っているチームが裏の攻撃で80分に達した場合は、次イニングに入る。【**守り負けをなくす**】
 - 3回以降10点差以上、5回以降7点差以上でコールドゲーム成立とする。
 - 投手の投球制限は設けない。**
 - 延長は、時間内(90分)であれば8回から特別延長戦（**1死満塁継続打順**）を実施して勝敗を決する。
ただし、特別延長戦は最大2イニングまでとし、それでも勝敗が決しない場合は、最終メンバーで抽選を行い、勝敗を決する。
 - 試合規定について、決勝戦も同様とする。
 - メンバー表交換は、前試合の2イニング終了時。
連続試合の場合は、試合開始15分前とする。
 - 練習場所は、次試合の2チームは本部が定めた練習場所にて練習可能。
また、施設に破損を与えた場合は、該当クラブで処理すること。
- ユニフォームは、必ずチームで統一したものにしてください。スパイクは統一色でなくてもよい。監督・コーチもユニフォーム・スパイク（トレーニングシューズも可）を必ず着用してください。指導者のスパイクの色の指定はない。カラーソックスはチーム内統一であれば可能とする。※**連合チームのユニフォーム混在を認める**。
選手の背番号は0～99番まで可能。ただし指導者は監督30番・コーチは29・28番を使用すること。
選手は30・29・28番を使用できない。主将は10番とする。
- 試合前のベンチ前練習には、監督・コーチ・選手のユニフォーム着用者以外は参加することはできない。また代表者・スコアラーは試合中にグラウンドに出ることはできない。⑦の練習時の参加は可能です。
- スタンド・応援席は「応援」をする場所です。相手チーム・審判への、野次や罵声は控えまして観戦・応援をしてください。応援については、**声を出す以外の応援は可能とする。（ラジカセ・太鼓・メガホン）**
- 審判は全て本部派遣とする（2～4審制）**。ボールボーイは試合を行なう両チームから派遣すること。
- 来場する選手・指導者・保護者の体調チェックシートをメンバー表交換時に提出すること。**
- 試合規定項目以外については、2022年公認野球規則・競技者必携及び試合前の審判からの取決め事項を準用する。

大会本部より

指導者は大会規約に関して熟読をお願いいたします。試合・大会進行の妨げになる行為・本部や審判の指示に反する行為をされる指導者に関しては、退場処分とさせて頂き、本戦大会のベンチ入りを許可しないものとする。